



WHA GROUP NEWS

WHAグループニュース <http://www.wha-group.com>

vol.32

WHA 工業団地ラヨーンが スマート工業団地の認証を取得



WHA 工業団地ラヨーン (WHA RIL) は先日「デジタル・タイランド・ビッグバン 2019」での表彰式で「New City」部門の「スマート工業団地証明書」を受領しました。表彰式では WHA コーポレーション株式会社のジャリーボン・ジャルコンサクン会長兼グループ CEO が同社を代表して証明書の授与を受けました。これはスマート工業団地 (スマート IE) の開発に尽力したことがデジタル経済振興のスマートシティ・タイランド室によって認められたものです。この認証制度はタイ政府の「タイランド 4.0」政策に即し、技術とイノベーションを利用して持続可能な都市管理を支援することを目的としています。

Toagosei (Thailand) 社が WHA イースタン・シーボード工業団地 2 で 第 2 工場の開所式を開催



奇性ソーダ等の基礎化学品や瞬間接着剤アロンアルファ等の機能化学品を製造する東亜合成のタイ現地法人である TOAGOSEI (THAILAND) は、10 月に東部経済回廊 (EEC) の工場にてエラストマーコンパウンド工場の開所式を開催しました。同社工場は、WHA イースタン・シーボード工業団地 2 (WHA ESIE 2) に位置します。2018 年 8 月操業開始のポリマー工場に続き、今回が二期工場の操業開始となり、この地域で増大し続ける需要を満たすことが可能になります。

クラレ GC アドバンスト・マテリアルズ社と クラライ・アドバンスト・ケミカルズ (タイランド) 社が WHA イースタン工業団地 (マプタブット) で起工式を開催



スーパーエンブラ製品を製造するクラレ GC アドバンスト・マテリアルズ社とクラライ・アドバンスト・ケミカルズ (タイランド) 社は先日 WHA イースタン工業団地 (マプタブット) で新工場の起工式を開催しました。タイの東部経済回廊 (EEC) という理想的な立地に恵まれた新工場は同社の生産能力を最適化し、自動車、エレクトロニクスおよび電化製品業界で継続的に拡大している需要を満たします。



(左より) ナタボル・ルンシットボン工業振興局長、ソムキット副首相、WHA 会長兼 CEO ジャリーボン・ジャルコンサクン氏、GROUND 代表取締役 CEO 宮田啓友氏、横原秀樹経済産業副大臣、佐渡島志郎タイ国日本大使館大使

GROUND、日タイ政府が推進する 『Open Innovation Columbus』プロジェクトにて タイWHA社と次世代物流プラットフォーム構築へ

日本の LogiTech® ※1 をリードする GROUND 株式会社 (本社: 東京都江東区) 代表取締役 CEO 宮田啓友、以下「GROUND」は、2019 年 11 月 2 日 (土)、タイ王国 (以下、タイ) で物流施設や工業団地およびデジタルプラットフォームなどを開発・展開するリーディングカンパニー WHA コーポレーション PCL (本

社: サムットプラカーン県、会長兼 CEO ジャリーボン・ジャルコンサクン、以下「WHA」) とタイ国内における次世代物流プラットフォーム構築の共同研究・開発について基本合意契約 (以下、MOU) を締結したことをお知らせします。

本契約は、内閣官房日本経済再生本部下に設置された未来投資会議において安倍首相が示した新興国企業との連携の方向性を背景に、タイの国家戦略ビジョンであるタイランド 4.0 に基づき、タイの産業高度化や東部経済回廊 (EEC) 開発および日タイ間の経済協力を深化させるプロジェクト「Open Innovation Columbus」の一環となります。

在タイ日本大使館で開催された署名・調印式には、GROUND はじめ日本企業 6 社、タイ企業 6 社が参加し、経済産業省 牧原 秀樹副大臣、タイのソムキット副首相、各社の MOU が締結されました。

「GROUND 株式会社代表取締役 CEO 宮田啓友のコメント」
WHA 社と共に東南アジアのサプライチェーン拠点として注目を集めるタイの EEC・物流改革に携われることを大変嬉しく思っています。両社の強みを生かし、GROUND がグローバルに提唱・推進する次世代物流プラットフォーム「Intelligent Logistics (ロジスティクス) ※2」の実現を目指します。

この度 GROUND と MOU を締結できたことを心から嬉しく思っています。GROUND が有する素晴らし、LogiTech® ソリューションをタイの物流現場で課題を抱えるお客様へ提供できるようにすることがとても待ち遠しいです。

1. MOU の背景
インターネットの発展に伴い、EC コマース (以下、EC) が社会インフラへと成長する一方で、少子高齢化による生産年齢人口の減少、消費者ニーズの高度化や多様化、配送短期化、人件費や運送費の高騰など、EC・物流を取り巻く環境は厳しさを増し、さまざまな課題への対応が求められています。

2. MOU の目的
GROUND は 2015 年の設立以来、物流業界における新しい価値創造と、AI やロボティクス等の先端テクノロジーを活用したソリューションを誰もが利用できる物流プラットフォーム「Intelligent Logistics (インテリジェント) Logistics (ロジスティクス) ※2」の構築を目指しています。

3. MOU の内容
本 MOU では、両社の技術とノウハウを共有し、タイ国内における次世代物流プラットフォーム構築の共同開発に取り組みとともに、将来的な協力体制を協議し、タイ国内の物流オペレーションの競争力を高め、物流改革を推進することを目的としています。

※1: 「LogiTech®」および「Intelligent Logistics®」は、GROUND 株式会社の登録商標または商標です。

経済特別区

ジャリーボン・ジャルコンサクン
会長兼グループCEO
WHAコーポレーション株式会社



経済特別区（SEZ）は多くの国々でビジネス機会の創出を刺激して外国人投資家を引き付けるための経済的手段となっています。SEZの主目的は新たな企業に柔軟性を提供するために様々な政策を調整して活用することです。

国連貿易開発会議（UNCTAD）が最近発表した2019年度世界投資報告書によると、世界には合計5,383か

所のSEZがあります。最も多いのは中国で、SEZの数は2,543か所に及びます。次に多いのはフィリピンで528か所。そして、インド（373か所）、北米（262か所）、ロシア（130か所）と続きます。

1990年代の終わりから2000年代の初めにかけて多国籍製造業投資が拡大して世界的なサプライチェーンの接続性が向上したことから、開発途上国で非常に多くのSEZが設けられました。CLMV諸国（カンボジア、ラオス、ミャンマー、ベトナム、タイ）においては、1986年に経済改革が開始されたベトナムでSEZが投資奨励策として用いられてきました。

ラオスも隣国である中国の一路構想に合わせて多数のSEZに力を注いでいます。現在までにラオスでは10か所のSEZと

EIZ（排他的経済区）が開発され、すでに正式に開業しています。ミャンマーは今年前半に同国にとって3か所目となる新たなSEZ、チャウビュ経済特別区（KPSSEZ）を発表しました。アナリストは中国が一路戦略に基づいてインド洋への直接的なアクセスを獲得し、中東および将来的にはその他の地域へとビジネスの門戸を広げるためにKPSSEZに多大な投資を行うと予測しています。

SEZは通常の経済区より有利な特典が付与されるため、投資、税制、労働力および技術開発に関する規制の柔軟性が高くなっています。また、タイも大規模な投資を引き付けるためにSEZを採用しています。世界水準の経済区として開発されたタイの東部経済回廊（EEC）はスーパークラスターと12種類のターゲット産業をサポートする態勢が完全に整っています。ASEANの物流ハブという戦略的な立地に恵まれたEECは接続性の高いインフラストラク

チャーが整備され、地域内の周辺諸国に容易にアクセスできます。2018年に発表されたEECのための東部特別開発区法はSEZの「地域ベースの開発」というコンセプトを用いており、特区拡大に欠かせない成功要因です。この新法は経済特別区によって経済開発、インフラストラクチャー、革新的な技術、規制、社会および人的資源の向上を確実に促進する上で重要な役割を果たします。次の重要なステップはあらゆる部門の支援を得てEECを効果的なモデルに創り上げ、持続可能な成功を他の地域にも広げることです。

これには先日発表された10県のSEZなどが含まれます。大きな可能性を持つこれらの経済区は「タイランド4.0」政策に即してタイの経済、技術および人材の開発を推進します。また、タイの競争力を高める持続可能な成長を生み出すために「中所得国の罠」の回避を目指します。

WHAユーティリティーズ・アンド・パワーとアクアワンが戦略的協力協定の締結署名式を開催

バンコク、2019年9月16日、WHAユーティリティーズ・アンド・パワー株式会社（以下「WHAUP」とアクアワン株式会社）は「戦略的協力協定」の署名式を開催しました。同式典にはタニー・サンラット在ベトナム・タイ大使閣下ならびにヴ・ティエン・

ロク・ベトナム商工会議所会頭のご臨席を賜りました。これは両社間の長期的な協力の焦点を当てられた最初の画期的な出来事です。WHAUPの完全子会社であるWHAUP（SG）2DR株式会社（WUPSD）は去る2019年8月にズオン・リバー・サーフェ



WHAUPがアクアワン社と協力してベトナムで水道インフラを開発

WHA ユーティリティーズ・アンド・パワー株式会社（WHAUP）とアクアワン株式会社（アクアワン）は先日タニー・サンラット在ベトナム・タイ大使閣下（右から5人目）のご臨席を賜り「戦略的協力協定」の締結署名式を開催しました。同協定はベトナムで水道インフラストラクチャーを開発するために長期的な協力関係を構築するもので、WHA ユーティリティーズ・アンド・パワー株式会社のジャリーボン・ジャルコンサクン取締役会会長（中央右側）とアクアワン社のド・ティ・キム・リエン取締役会会長（中央左側）が署名を行いました。

WHAUPは通常の経済区より有利な特典が付与されるため、投資、税制、労働力および技術開発に関する規制の柔軟性が高くなっています。また、タイも大規模な投資を引き付けるためにSEZを採用しています。世界水準の経済区として開発されたタイの東部経済回廊（EEC）はスーパークラスターと12種類のターゲット産業をサポートする態勢が完全に整っています。ASEANの物流ハブという戦略的な立地に恵まれたEECは接続性の高いインフラストラクチャーが整備され、地域内の周辺諸国に容易にアクセスできます。2018年に発表されたEECのための東部特別開発区法はSEZの「地域ベースの開発」というコンセプトを用いており、特区拡大に欠かせない成功要因です。この新法は経済特別区によって経済開発、インフラストラクチャー、革新的な技術、規制、社会および人的資源の向上を確実に促進する上で重要な役割を果たします。次の重要なステップはあらゆる部門の支援を得てEECを効果的なモデルに創り上げ、持続可能な成功を他の地域にも広げることです。

署名式に出席したアクアワン社のド・ティ・キム・リエン取締役会会長は次のように述べました。「ベトナムにおいては経済の急速な拡大に伴って水の製造や廃水処理など環境分野のビジネスに対して非常に大きな需要が生まれています。アクアワンの使命はこの分野のパイオニア企業となり、ベトナムに住むすべての人々にサービスを提供することです。この使命を果たすためのパートナーとしてWHAUPを迎えることは非常に喜ばしく、また光栄でもありません。」

WHAコーポレーションのジャリーボン・ジャルコンサクン会長兼グループ最高経営責任者は次のように述べています。「本日はアクアワン社とWHAUPがベトナムで水道インフラストラクチャー事業を開発するための長期的な協力関係の始まりとなる記念すべき日です。この戦略的協力協定はアクアワン社とWHAUPが

「WHAUP」がタイ最大のソーラー発電駐車場プロジェクトを推進 年間収益が2,000万バツ増加し、2019年のソーラー発電目標量が25MWに達する見込み

バンコク、WHAユーティリティーズ・アンド・パワー株式会社（WHAUP）は4.88MWのソーラー発電駐車場プロジェクトを推進することを明らかにしました。同プロジェクトはSAICモーターCPC株式会社が所有するMGブランドの自動車製造工場の駐車場を利用するもので、総面積は3万1,000㎡に及びます。

2020年第1四半期中に完成する見込みで、タイ最大規模のソーラー発電駐車場となります。発電による平均年間収益は200万バツと見込まれています。同社のウィット・チュンワタナ最高経営責任者（CEO）はWHAUPの今年度の目標発電量を当初の15メガワットから25メガワットに上方修正しました。同氏は、最近の顧客はコスト削減に役立ち電力の節約につながって環境を保護するグリーンエネルギーに強い関心を持っていると述べています。

2022年までに合計100MWの屋上ソーラー発電投資を行うという同社の5年間の目標はこれまでどおり維持されます。WHAUPユーティリティーズ・アンド・パワー株式会社（WHAUP）のウィット・チュンワタナ最高経営責任者（CEO）は同社が2019年第2四半期にSAICモーターCPC株式会社との間で同社MGブランドの自動車工場の駐車場にソーラー発電施設を設置する契約を締結したと述べました。新たに設置される屋根構造は合計面積が3万1,000㎡で、屋根の下に約2,000台の自動車を駐車できます。合計発電量は4.88MWで、発電した電力は工場で消費されます。同工場とソーラー発電駐車場プロジェクト用地はWHAイースタン・シールド工業団地2（WHAESI2）に位置しています。同プロジェクトは2020年第1四半期中に完成する予定です。これにより、同社は20年間の契約期間全体を通じて平均2,000万バツの年間収益を得ることができると述べています。「このプロジェクトに関し

WHAUPは駐車場の構造物とソーラー発電システムの投資と施設設備の設置を子会社であるWHA SLに担当させます。このプロジェクトには約1億7,500万バツの投資予算が必要となります。WHA SLの完全に統合されたサービスは許認可の取得、設計とエンジニアリング、建設と設置作業のほか、契約期間全体にわたる運営とメンテナンスなどプロジェクト開発プロセス全体を網羅します。お客様はエネルギー顧客のニーズに対応してきた長年の経験を有する当社の作業チームの専門知識とプロ意識を信頼してお任せいただけます。当社のソーラー屋上発電サービスはお客様の電力コスト節約だけでなく、環境保護目標の達成にも役立ちます。」

WHAUPのCEOはWHA工業団地の内部と外部双方の多数の顧客がソーラー屋上発電に関心を示していることを明らかにしました。2019年におけるソーラー屋上発電は最初の

力に合わせて高品質で清潔な水の供給を通じて今日のハノイの人々の生活の質を向上させるための重要なステップとなります。私たちは近い将来この共同事業をベトナムの他の地域に拡大することを目指します。」

タニー・サンラット在ベトナム・タイ大使閣下は次のように語りました。「このアクアワン社とWHAUPとの戦略的協力協定は公共インフラサービス部門におけるベトナム・タイ間の投資協力の新たな章であり、両国の協力関係の新时代に向けた道を開くものです。」

同署名式翌日の2019年9月5日にはズオン・リバー水処理工場フェーズ1Bの商業運転開始記念式典が開催されました。同工場にはドイツの技術が採用されており、処理容量がこれまでの5,500万㎡/年から1億1,000万㎡/年へと倍増します。

アクアワンについて
アクアワンはベトナムの水処理分野の大手企業として2015年に設立されました。現在の処理容量は約1億8,000万㎡/年で、メコンデルタ・リバー、フイエのように述べています。「このプロジェクトに関し



WHA GROUPで更なる飛躍を目指す企業

TOAGOSEI (THAILAND) CO.,LTD. Chemical manufacturing



社長 五十嵐 一郎氏

瞬間接着剤「アロンアルファ」で広く知られている東亜合成株式会社は、①苛性ソーダ（水酸化ナトリウム）といった基礎化学原料や、②紫外線硬化型樹脂、粘着剤及びその原料などのアクリル系化学製品、③アロンアルファをはじめとする接着剤、そして④抗菌剤等の高機能無機製品を製造販売する総合化学メーカーです。設立は古く、戦中の1942年。社齢75年を超える老舗企業です。一般にはアロンアルファの印象がとても強いのですが、コーンシューマー製品以外の工業用原料を生産するBtoB（企業対企業）の事業が大きな割合を占めています。

第一期事業として18年7月に竣工したのが、水溶性アクリルポリマーを生産する第一工場です。シャンプーなどに使用する増粘剤や、消炎作用や冷却効果を持つパップ剤のジェル状成分の原材料を生産しています。ここで製造されたものはタイ市場に流通しているほか、アセアン一円や中国市場などにも輸出されています。東亜合成の基幹事業としての役割が課されています。

1990年より海外展開を始め、まずは米本土にアロンアルファの販売合弁子会社を開設。95年に中国工場（珠海）を設置して、香港やシンガポール、台湾にも進出しました。タイ法人の設立は2016年8月。成長著しい東南アジア（アセアン）市場の拠点として、BtoB需要の掘り起こしのためにタイ・チョンブリ県のイースターンシーボード工業団地2に工場を建設しました。

第1、第2工場が竣工・稼働 アセアン市場の拠点づくりに



皆さんの生活とともにある瞬間接着剤は、将来的な自社生産も視野に入れていきます。タイ工場の建屋2階には、顧客企業からの相談対応や試作のためのラボも設置しています。顧客ニーズに合わせた製品の開発・研究をここでを行っています。タイには多くの日系企業が進出しており、身近なところにラボを開設することで迅速な対応と顔の見える関係を構築することができま



2017年2月に開発が開始されたWHAインダストリアルゾーン1はベトナム中央北部に位置し、地理的な立地条件、整ったインフラストラクチャー、環境保護および特別な投資特典に関して多くの魅力的なメリットを投資家に提供します。それに加え、この開発プロジェクトには世界水準の工業施設の企画・開発分野においてWHAグループがタイで培った30年以上にわたる経験も活かされています。

開発と経済成長に大きく貢献しています。タイにおけるWHAの30年間の経験を活用 投資家はタイで世界水準の工業団地を企画・開発し、インフラストラクチャーとカスタマーサービスに関して国際的な水準を実現してきたWHAグループの30年にわたる経験からもメリットを得ることができま

WHAインダストリアルゾーン1の開発にあたり、私たちは弊社がタイで運営している11か所の工業団地と同じ世界水準の環境基準を適用しています。包括的で持続可能な工業開発というWHAのビジョンには初期の段階からすべての関係者が関与する環境保護の取り組みが含まれています。私たちは工業開発と経済成長において環境責任が果たすことのできる極めて重要な役割を認識しています。

WHAインダストリアルゾーンはドナム経済ゾーンという戦略的な立地に恵まれ、完成時には総面積が3,200ヘクタールに達してベトナム中央北部で最大規模のインダストリアルゾーンとなります。

投資家はタイで世界水準の工業団地を企画・開発し、インフラストラクチャーとカスタマーサービスに関して国際的な水準を実現してきたWHAグループの30年にわたる経験からもメリットを得ることができま

WHAインダストリアルゾーン1の開発にあたり、私たちは弊社がタイで運営している11か所の工業団地と同じ世界水準の環境基準を適用しています。包括的で持続可能な工業開発というWHAのビジョンには初期の段階からすべての関係者が関与する環境保護の取り組みが含まれています。私たちは工業開発と経済成長において環境責任が果たすことのできる極めて重要な役割を認識しています。

WHAインダストリアルゾーン1がゲアン

2017年2月に開発が開始されたWHAインダストリアルゾーン1はベトナム中央北部に位置し、地理的な立地条件、整ったインフラストラクチャー、環境保護および特別な投資特典に関して多くの魅力的なメリットを投資家に提供します。それに加え、この開発プロジェクトには世界水準の工業施設の企画・開発分野においてWHAグループがタイで培った30年以上にわたる経験も活かされています。

開発と経済成長に大きく貢献しています。タイにおけるWHAの30年間の経験を活用 投資家はタイで世界水準の工業団地を企画・開発し、インフラストラクチャーとカスタマーサービスに関して国際的な水準を実現してきたWHAグループの30年にわたる経験からもメリットを得ることができま

WHAインダストリアルゾーン1の開発にあたり、私たちは弊社がタイで運営している11か所の工業団地と同じ世界水準の環境基準を適用しています。包括的で持続可能な工業開発というWHAのビジョンには初期の段階からすべての関係者が関与する環境保護の取り組みが含まれています。私たちは工業開発と経済成長において環境責任が果たすことのできる極めて重要な役割を認識しています。

WHAインダストリアルゾーン1の開発にあたり、私たちは弊社がタイで運営している11か所の工業団地と同じ世界水準の環境基準を適用しています。包括的で持続可能な工業開発というWHAのビジョンには初期の段階からすべての関係者が関与する環境保護の取り組みが含まれています。私たちは工業開発と経済成長において環境責任が果たすことのできる極めて重要な役割を認識しています。

WHAインダストリアルゾーン1の開発にあたり、私たちは弊社がタイで運営している11か所の工業団地と同じ世界水準の環境基準を適用しています。包括的で持続可能な工業開発というWHAのビジョンには初期の段階からすべての関係者が関与する環境保護の取り組みが含まれています。私たちは工業開発と経済成長において環境責任が果たすことのできる極めて重要な役割を認識しています。

WHAインダストリアルゾーン1の開発にあたり、私たちは弊社がタイで運営している11か所の工業団地と同じ世界水準の環境基準を適用しています。包括的で持続可能な工業開発というWHAのビジョンには初期の段階からすべての関係者が関与する環境保護の取り組みが含まれています。私たちは工業開発と経済成長において環境責任が果たすことのできる極めて重要な役割を認識しています。

WHAインダストリアルゾーン1の開発にあたり、私たちは弊社がタイで運営している11か所の工業団地と同じ世界水準の環境基準を適用しています。包括的で持続可能な工業開発というWHAのビジョンには初期の段階からすべての関係者が関与する環境保護の取り組みが含まれています。私たちは工業開発と経済成長において環境責任が果たすことのできる極めて重要な役割を認識しています。

WHAインダストリアルゾーン1の開発にあたり、私たちは弊社がタイで運営している11か所の工業団地と同じ世界水準の環境基準を適用しています。包括的で持続可能な工業開発というWHAのビジョンには初期の段階からすべての関係者が関与する環境保護の取り組みが含まれています。私たちは工業開発と経済成長において環境責任が果たすことのできる極めて重要な役割を認識しています。

WHA GROUP ニュースダイジェスト

Industrial Development

CSR

ジェットロバンコクの代表団がWHA工業団地を訪問

日本貿易振興機構(ジェトロ)の代表団が先日WHAイースタン・シーボード工業団地1(WHA ESIE 1)とイースタン・シーボード工業団地(ラヨーン)を訪れました。ジェトロ・バンコク事務所の竹谷厚所長(前列中央)に率いられた同代表団はEECの工業団地の開発状況について調査すると共に入居する企業の視察を目的として来訪しました。一行はWHAインダストリアル・ディベロップメント株式会社のラダ・ロジャナウィライウッド副社長(前列右から3人目)による歓迎を受け、投資家に提供されている最先端の施設とインフラサービスの総合的な見学を行いました。



OSSと内務次官事務所の代表団がWHAグループを訪問

ワン・スタート・ワン・ストップ・インベストメント・センター(OSS)と内務次官事務所の代表団が先日WHAイースタン・シーボード工業団地1(WHA ESIE 1)とイースタン・シーボード工業団地(ラヨーン)(ESIE)を訪れ、WHAコーポレーションのシヤパス・チャンタチャイロート法人マーケティング部長(中列右から6人目)をはじめとするWHAグループ幹部による歓迎を受けました。一行は外国人投資家向けの投資関連情報と効率的なサービスを的確に提供するために、WHAの国際的な基準に基づいた運営とサービスを視察しました。併せてEECにあるタイの自動車産業クラスターの見学も行いました。



WHAグループとBOIが第165回マーケットプレイス・プログラムを共催 国内サプライヤーの育成が目的

WHAグループとタイ国投資委員会(BOI)は先日タイ下請事業者振興協会(Thai Subcontractors Promotion Association)と協力し、チョンブリー県のパッタナ・ゴルフクラブ&リゾートにおいて「Vendors Meet Customers to WHA Industrial Estates」(WHA工業団地入居企業とベンダーの交流会)の今年度版を開催しました。この催しは製造業者と国内サプライヤーが互いに交流してビジネスチャンスを見つける機会を提供することを目的としたもので、BOIのフロンティア・フシリ産業推進部長(左から7人目)が推進役を務めました。この特別なイベントには200名以上が参加し、WHAコーポレーション株式会社のシヤパス・チャンタチャイロート法人マーケティング部長(左から6人目)が開会の挨拶を行いました。その後、ジェントス、ポッシュ、サイアム・コンプレックス・インダストリー、リナックなど製造分野の大手企業における最新のトレンドの紹介が行われました。



CIMBのビジネスリサーチ担当者がWHAイースタン・シーボード工業団地1と イースタン・シーボード工業団地(ラヨーン)(ESIE)を訪問

CIMBタイのビジネスリサーチ担当者一行が先日ラヨーンを訪れ、WHAイースタン・シーボード工業団地1(WHA ESIE1)とイースタン・シーボード工業団地(ラヨーン)(ESIE)を見学しました。一行はWHAコーポレーションのシヤパス・チャンタチャイロート法人マーケティング部長(左から3人目)による歓迎を受けました。同部長は訪問者が現在取り組んでいる東部経済回廊(EEC)の工業団地に関するリサーチに即して、すべての入居企業に提供されている世界水準の施設と技術的に進んだインフラストラクチャーに関する情報提供を行いました。



カセサート大学の学生がタイの自動車産業クラスター、 WHAイースタン・シーボード工業団地を訪問

カセサート大学(シラチャ・キャンパス)経営科学学部で管理会計を専攻している学生一行が先日WHAグループを訪問し、WHAコーポレーション株式会社のシヤパス・チャンタチャイロート法人マーケティング部長による温かい歓迎を受けました。一行は東部経済回廊における実世界の工業団地開発に関する知識を深めるためにラヨーン県にあるWHAイースタン・シーボード工業団地1(WHA ESIE 1)とイースタン・シーボード工業団地(ESIE)を訪れ、世界水準の施設の詳細な見学を行いました。



WHA工業団地4か所が エコ・インダストリアル・タウン・アワードを受賞

先日開催された「エコ・イノベーション・フォーラム2019」でWHA工業団地4か所がエコチャンピオン部門で「エコ・インダストリアル・タウン・アワード」を受賞しました。同フォーラムはタイ工業団地公社、工場局、タイ工業連盟および持続可能性のための水・環境研究所(Water and Environment Institute for Sustainability)が共同で開催したものです。受賞したのはWHAイースタン・シーボード工業団地1(WHA ESIE 1)、WHAチョンブリー工業団地1(WHA CIE 1)、WHAイースタン工業団地(マブタブット)(WHA EIE)およびイースタン・シーボード工業団地(ESIE)で、これらの工業団地はスマートで持続可能なインダストリアル・タウンのコンセプトに即して持続可能性を促進する意識の高い事業運営における卓越した取り組みが認められました。



WHAインダストリアル・ディベロップメント社が植林活動を実施 環境に優しい地域社会の構築を目指して

WHAインダストリアル・ディベロップメント社は先日タイ工業団地公社(IEAT)の協力のもとに地域社会のためにより多くの緑地を設けることを目的としてラヨーン県ワット・シ・ブム・ポーで植林活動を実施しました。この活動はESIE(ラヨーン)のスワット・キソポン上級現場管理者(左から4人目)とキッティワット・トリーチャルソムブーンIEAT東部臨海地域(ラヨーン)事務所長(右から3人目)が指揮し、持続可能な緑地の維持と環境保護の認識向上を目指してWHAのお客様、地方自治体の職員、地域住民が一致協力して行ったものです。



WHAグループが第7回アートキャンプ・トリップを開催 美術を通じて環境意識を啓発

WHAグループは先日、毎年恒例のアートキャンプ・トリップを開催しました。この活動はWHAコーポレーション株式会社のシヤパス・チャンタチャイロート法人マーケティング部長の主導によるもので、EECにあるWHA工業団地周辺の9カ所の学校から40名以上の生徒が参加しました。インスパイア・サイト社の美術講師の協力により、生徒たちの芸術的才能を引き出す実践的なスケッチのレッスンなどが盛り込まれた内容豊富なプログラムが実施されました。このトリップは3日間の日程で開催され、地方の文化と環境を保護する上での役割について生徒たちの意識を高めることを目的とし、ワット・カオ・タバックとノン・コー貯水池の訪問およびWHAチョンブリー工業団地2(WHA CIE 2)の曝気ラグーンの見学も行われました。



WHAデジタル・プラットフォームがクラウドサービスを強化

タイ国内に4か所のデータセンターを擁するWHAデジタルは障害回復サイト(DRサイト)やデータストレージなどの新たな「Infrastructure as a Service」(IaaS)機能を提供し、ビジネス継続性を顧客にもたらします。

バンコク、2019年9月23日。タイにおける完全に統合された物流、工業団地、公共インフラサービスと電力およびデジタル・プラットフォームのリーダー企業であるWHAグループの子会社、WHAインフォナイト株式会社を通じて、WHAデジタル・プラットフォームはITおよびデータ関連の顧客ニーズの高まりに際してクラウドサービスを強化しました。同社は新たなIaaS機能の一部としてバックアップおよび障害回復サイト(DRサイト)とデータストレージの活用を顧客に提案しています。

2018年から専門の事業部門となったWHAクラウド・サービスでは柔軟なアプローチを採用してパブリックとプライベート双方のマルチクラウドおよびハイブリッド・クラウドサービスを提供しており、現在のとおり様々な業界で20社を超えるビジネス顧客が同サービスを利用しています。WHAクラウド・サービスはタイにデータセンターを4か所設けており、年中無休のネットワーク運用サポートを提供できます。

WHAインフォナイト社のクラウド・オンチャイサク最高経営責任者は次のように述べています。「当社のクラウドサービスの主要目的の1つは顧客のためにビジネス継続性を確保することです。統計によると、自然災害、人為的なミス、停電、ハードウェアの故障など原因の如何を問わず10日間に

破産しています。障害に見舞われた企業の43%は事業を再開できず、29%は2年以内に廃業しています。当社の「クラウド・サービス」部門はあらゆる種類のリスクに対処する先を見越したアプローチを提供するため、お客様は事業運営を継続できます。」

WHAクラウド・サービス事業部門はFTT x インフラストラクチャーによる高速でセキュリティが高く、レイテンシーの低いサービスを利用できるWHA工業団地の入居企業と外部の企業双方を顧客対象としています。当社のサービスを現在利用している企業、または関心を持つ企業は小売、ヘルスケア、金融分野の企業です。国際的なサービスプロバイダーと比較してWHAクラウド・サービスが持つ利点はデータ転送が高速であることですが、これはタイ国内にデータセンターを置いているためです。

また、WHAはFTT x、機器レンタル、ITアウトソーシング、ビデオ管理サービス(VMS)、IP-PBX技術を用いた電話通信とコールセンター、電子メール、ウェブサイト、ファイアウォール、セキュリティとストレージ、バックアップシステム、コロケーション、アクセス・コントロール・システムなど様々な管理サービスとデジタルソリューションを物流・工業分野の顧客に提供しています。顧客は固有の要件に応じてこれらのサービスとソリューションをベイ・パー・ユース方式で選択できます。

WHAでは最高のサービスとソリューションを年中無休で確実に提供できるよう、機器のメンテナンスとデータセンター管理の訓練を受けた専門家から成る専任のチームを設けています。

わたってデータを喪失した企業の93%は1年以内に

10th WHAの工業団地

WHA

イースタン・シーボード工業団地

ロボット、航空、物流及び次世代自動車産業を
ターゲットとする東部経済回廊(EEC)域内投資奨励ゾーン

- 自動車・ハイテク・航空宇宙・消費財産業およびその他製造業にとつてのロケーション
- レムチャパン深海港至近
- イースタン・シーボード工業団地(ラヨーン)およびWHAイースタン・シーボード工業団地1まで10km
- 国道344号線まで8km

WHA Industrial Development Plc.
T. 662 719 9555 www.wha-industrialestate.com
Email: marketing@wha-group.com